

静岡ふるさと通信 vol.18

大阪・関西万博に静岡県ブース「GEO KITCHEN SHIZUOKA」が3日間限定で登場

静岡の食と自然の魅力を体感できる「GEO KITCHEN SHIZUOKA」が、6月6日(金)から8日(日)の3日間限定で大阪・関西万博に登場。ダイナミックな音と映像でGEOを感じるシアター、AI診断によるあなた好みのブレンド茶の提供、ワークショップ、プレミアムキッチンカーでの試食・試飲など多彩なコンテンツをご用意いたします。

WELCOME TO SHIZUOKA

～GEOの恵みを味わうおもてなし～

静岡県を代表する日本一の山、富士山をモチーフとした建物外観。ウェルカムドリンク「お茶のだし」で皆様をお迎えします。



富士山をモチーフにした正面のイメージ

SHIZUOKA FOOD THEATER

～GEOを感じるシアター～

大ビジョンモニターと2台のモニターが設置されたシアター。静岡の自然と食の魅力を、ダイナミックな音と映像でお楽しみください。



フードシアターのイメージ

SHIZUOKA ADVENTURE

～VRやワークショップで体験～

VRによるお茶・わさびの空中散歩体験やAIお茶診断など、静岡の食の魅力を体感。工芸体験、お茶染め体験などを楽しめるワークショップも企画中です。

DISCOVER SHIZUOKA

～静岡をより深く知ることができるギャラリー～

特別展「和食展」の出張展示や、静岡県各市町の魅力を伝える展示から、静岡をより深く知ることができるゾーンです。

FOOD CAPITAL PARK

～静岡の食をより深く味わうイベント広場～

静岡県産木材を使ったスペースでは、プレミアムキッチンカーで提供する「静岡お茶漬け」や静岡の多彩なお茶を楽しめます。県内市町のイチオシ食材を、万博オリジナル料理にかえてご提供。至福の一口をお楽しみください。



キッチンカーのイメージ

GEO KITCHEN SHIZUOKA

出展場所：フューチャーライフゾーン
ギャラリーWEST
(事前予約不要)

開催日時：6月6日(金)～8日(日)
10時～20時

詳細はこちら



「2025大阪・関西万博 地方創生SDGs フェス」に島田市が出展

県以外にも多数の県内市町が出展します。

島田市は、「島田市緑茶化計画」をコンセプトとした空間を演出し、島田市の緑茶や観光などの魅力を紹介します。



島田市の展示イメージ

本物の茶の木の展示や茶揉み工程のアトラクション「茶もみFACTORY」などのお茶の体験によりお茶の魅力を発信します。「茶もみFACTORY」は、来場者がお茶の葉になった気持ちで茶揉み工程を体験できます。体験者も見学者も楽しみながらお茶の魅力を感じてもらいます。

また、島田市緑茶化計画のコンセプトティや関連商品を販売します。さらにブースでは、桃太郎電鉄のデジタル版の物件カードが入手できます。御来場の際は、島田市のブースで物件カードを入手してください。

2025大阪・関西万博 地方創生SDGsフェス

出展場所：西ゲートゾーン EXPO
メッセ「WASSE」南側

開催日時：5月28日(水)～6月1日
(日)10時～20時30分



レストランA食堂 東京

住所：東京都港区赤坂2-20-11

最寄駅：六本木一丁目駅、赤坂駅、溜池山王駅

電話番号：03-6459-1316

営業時間：ランチ 11:30～15:00(L.O.14:30)

ディナー 17:30～22:00(L.O.21:30)

定休日：土曜日（不定休）、日曜日、祝日

座席数：26席

詳細は
こちら



心と体に染みる手作りの味

A食堂は、2018年4月に赤坂にオープンしました。子どもの頃から「食」が大好きな家族の元で育った店長が作る料理は、どれも体に優しく心に染みる家庭の味。こだわりは、良質な素材を使って手作りし、愛情を込めた料理をお客様に提供すること。

レシピは、店長が家庭で食べていたものを始め、料理が大好きなスタッフがアイデアを出し合っ、納得の味に仕上げたものです。



伊豆下田産あじの干物とおぼんざい

静岡県下田市出身の店長は、地元の素材も味わってもらいたいと、伊豆下田から天日干したアジの干物を仕入れています。こちらを使った料理が「伊豆下田産あじの干物とおぼんざい

い」。日光を浴び、うまみが増したアジの干物は格別です。

その他のおすすめは、豊富な食材が楽しめる「色々おかずプレート」。この日のおかずは切り干し大根、ハンバーグ、カレーなど9種。1食で、多くの種類の食材をバランス良く摂取できるようにと、お客様の健康を思って作られたプレートです。



色々おかずプレート

ディナータイムには、お酒に合う料理と静岡県産の日本酒はいかがでしょう。伊豆下田産のお米「キヌヒカリ」を使用した「黒船魔狗(クロフネマシユ)」は、下田港を開港したペリーのファーストネームから名付けられた辛口の純米大吟醸酒です。



黒船魔狗(画像左)

まだまだお客様に食べてほしい料理があると話す店長。今後は、メニューを増やし、更にお客様に喜んでもらえる料理を提供したいと意気込みをお伝えくださいました。

家庭料理が恋しくなったら、A食堂へお越しください。



スパイシーチキンカレー

おすすめの地域情報

伊豆 ホタル観賞会（伊東市）

松川湖と丸山公園でほたる観賞会を開催します。夕方から夜にかけてほたるが飛び交うことで、幻想的な光景を創り出します。観賞会期間中には、「松川湖」のログハウスでほたる教室の開催を予定しています。ほたるに興味がある人は足を運んでみてください。

- **開催日時** 5月31日(土)～6月8日(日) 19時30分～21時
- **開催場所** ①松川湖 ②丸山公園
- **アクセス** ①JR伊東駅から車で20分
②JR伊東駅から徒歩20分、タクシーで5分
- **問合せ先** 伊東市観光課 ☎0557-32-1712

※天候等により中止となる場合は、伊豆・伊東観光ガイドの到着ニュースにて16時頃にお知らせします。雨の後などは、足元が悪くなります。階段やコンクリートなど滑りやすくなりますので気をつけてお越しください。



詳細は
こちら

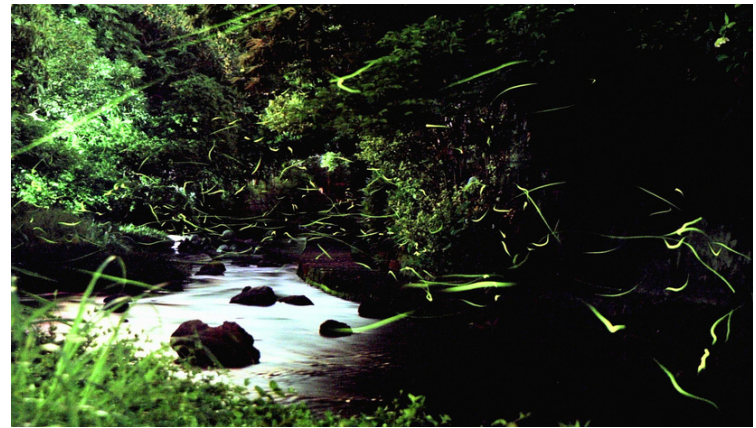


東部 第41回三島ホタルまつり（三島市）

全国でもめずらしい、市街地でホタルを楽しめるまち三島で、第41回三島ホタルまつりを開催します。イベントショーや各種模擬店のほか、先着200名様にホタルをプレゼント。幻想的な光と三島の湧水をお楽しみください。

- **開催日時** 6月14日(土)10時～20時 ※最終入園19時45分
- **開催場所** 楽寿園(三島市一番町19-3)
- **問合せ先** 三島市商工観光まちづくり課 ☎055-983-2656

詳細は
こちら



中部 島田市川根町抜里ホタル観賞会（島田市）

今年もホタルの季節がやってきました。島田市川根町抜里(ぬくり)ではホタルの生態系の保全活動が続けられています。ホタル発生地環境を守るため、地域の皆さんによって林の整備や除草作業、水路の清掃などホタルの幼虫のエサになるカワニナという巻き貝を育てて、放流するといった活動が行われています。ご家族・ご友人と御来場ください。

- **開催日時** 6月14日(土) 18時～ ※小雨決行
- **開催場所** 抜里八幡神社
- **駐車場** ぬくり園(島田市川根町抜里440)
- **参加費** 500円/人(軽食のふるまいがあります)
- **問合せ先** 抜里エコポリス ☎090-6078-9711(児玉)

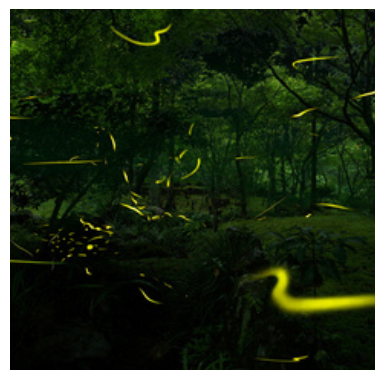


西部 法多山ほたるまつり（袋井市）

日没後、木々の間でゆっくりと光る幻想的なホタルの光。夜の静寂の中で、生命の神秘と尊さ、美しさを体感する特別なひとときを。境内が暗くなるホタルが観賞できる時間を待つ間は、だんごの無料接待(数量限定)や、屋台・キッチンカーの美味しいグルメを味わいながら、ゆっくりと楽しくお過ごしください。ホタルの学校や、風鈴のライトアップ、厄除だんごの特別販売も行われます。

- **開催日時** 5月24日(土)、25日(日)、31日(土)、6月1日(日) 18時～21時
- **開催場所** 法多山尊永寺
(ホタル観賞公園、だんご茶屋前広場)
- **問合せ先** 厄除観音 法多山尊永寺
(袋井市豊沢2777) ☎0538-43-3601

詳細は
こちら



出典：法多山尊永寺

静岡県アンテナコーナー「おいしず」のススメ

5月のオススメ商品は、「ふじのくに新商品セレクション2022」の金賞を受賞した「鬼ヶ島とんがらし」(株式会社 オフィス・タフ)です。

「鬼ヶ島とんがらし」は日本一餃子に合う調味料を目標に開発。ラーメン店の豚骨スープの豚ガラを堆肥にして、富士市中里の「鬼ヶ島地区」で唐辛子を栽培。地の味噌と合わせ、さらに当地のみりんで旨味と甘みを加え、冷蔵熟成により角の取れた旨味際立つ究極の辛旨味噌になりました。万能調味料として幅広くお使いいただけます。



静岡県ならではの商品を販売中

静岡県アンテナコーナー

『おいしず』

JR秋葉原駅 徒歩2分

CHABARA内

「日本百貨店 しょくひんかん」

東京都千代田区神田練塀町8-2 (JR高架下)

おいしずの詳細

おいしず楽天市場店



【活動報告】清水エスパルスin国立競技場でブース出展

5月3日(土・祝)に国立競技場(東京都新宿区)で2025明治安田J1リーグ第14節清水エスパルス対名古屋グランパス戦が開催されました。静岡市、伊豆市、御殿場市、静岡県がブースを出展し来場者をもてなしました。

静岡県ブースは大盛況

静岡県ブースでは、観光パンフレットを配布し静岡県の魅力を来場者に伝えました。また、静岡県出身の杉村英孝さんが東京パラリンピックで金メダルを獲得した「ボッチャ」の体験コーナーを設置。目標の点数を獲得した方にふじのくに新商品セレクションの「バリ勝男クン。」をプレゼントしました。静岡県ブースは大盛況でキックオフ前の13時半頃には用意した400人分のパンフレットとプレゼントが全て無くなってしまいました。

今後も首都圏でのブース出展などの機会を通じて首都圏の皆様へ静岡県の魅力を伝えていきます。

試合は残念ながら

スタジアム入口では、静岡市の伝統工芸体験施設「駿府の工房 匠宿」とコラボレーションしたユニフォームが配られ、快晴のスタジアムにオレンジが色鮮やかに映えていました。

オレンジのユニフォームを着て懸命に応援しましたが、残念ながらエスパルスは失点が重なり、新国立競技場でのホームゲーム初勝利はお預けとなりました。ちなみに5月3日は、J1で8試合、J2とJ3で各10試合ずつ行われ、総観戦者数はJリーグ史上最多となりました。その中で、最も観客を動員したのが清水エスパルスの試合で、5万2,847人の動員を記録しました。



オレンジ色に染まる国立競技場



ボッチャ体験



大盛況の静岡県ブース

編集後記

令和7年4月に着任しました次長の池田です。東京事務所での勤務は初めてとなりますが、東京での生活は、大学での4年間と20年程前に総務省

に1年間出向して以来、

「静岡ふるさと通信」では、イベントや観光情報、静岡ゆかりのお店など、職員の独自取材による耳寄りな情報をお届けしてまいります。今後もぜひ、本通信を御愛読いただくとともに、「次の休日は静岡へ」そんなきっかけになることを願っています。



静岡県東京事務所
次長 池田 典由

静岡ふるさと通信に関するお問い合わせ

静岡県東京事務所 〒102-0093 東京都千代田平河町2-6-3都道府県会館13階

☎ 03-5212-9035 ✉ tokyo@pref.shizuoka.lg.jp